



いわもと ゆうか
岩本 有加ちゃん(10か月)
「女の子らしくなったよ。」(南松浜)

お子さんの写真を 広報紙に掲載しませんか？

広報「さんようおのだ」では、毎月1日号に掲載する小学校就学前までのお子さんの写真を募集しています。

掲載をご希望の方は、下記までお問い合わせください。

■問い合わせ先 広報広聴課 (☎ 82-1133)



こちら消防



119

小野田消防署 (☎ 83-0119)
山陽消防署 (☎ 71-1900)

野焼きにご注意を

今年に入って、山口県内でも野焼きが原因となる死亡を伴う火災が発生しています。

次のことに注意し、火の取扱いに気をつけましょう。



◎野焼きによる火災を防ぐためのポイント

乾燥注意報や強風注意報発令中は延焼速度が早くなるので、極力、野焼きを行わないようにしましょう。

■やむを得ず行う場合は、次の点にご注意を！

- 事前に最寄りの消防署に連絡してください。
- 決して1人では行わないでください。
- 危険を伴うため、高齢者だけで行わないでください。
- 水バケツ・水道ホースなどの消火用具を事前に準備してください。
- 厚い生地を衣服を着用するなど、着火しにくい服装で行ってください。

いったん火が発生すると火の回りが予想以上に早く、煙に巻かれてしまうことがあります。万一火災が発生した場合は、無理に消そうとせず速やかに消防署に通報してください。



ひとひと 女と男の21世紀

男も女も適材適所 増える役割 減る差別

タイトルにあるこの一行詩は「第10回女と男の一行詩」の最優秀作品です。作者は、男女共同参画社会の実現に向けた取組みが進むにつれ、男性の分野に女性が、女性の分野に男性が進出し、男女ともに役割が増えると、それに伴い逆に差別は減っていくのが自然な姿ではないかと話されています。

少子高齢化が進み、担い手が不足することが懸念されるこれからの社会では、男女が仕事にも家庭生活にもバランスよく参画でき、互いに支え合う環境づくりが大切です。そのためには、現在でも根強く残っている「性別による固定的役割分担」を見直していく必要があります。たとえば「男性は外で仕事、女性は家事・育児」という考えがありますが、このような考え方では会社や組織の中での採用・昇進において女性が不利になってしまいます。

また、男性の方も、赤ちゃんが生まれた時に育児休暇を取りたいと思っても、上司や周りが「育児は女性がするもの」という考えを持っていたらなかなか納得してもらえません。少子化が問題となっている中、男性も進んで育児に参加する必要がありますが、本人がその意思を持っても周りが昔のままの考えだと実現は困難です。男女それぞれの生き方の制約へと繋がりがねない「性別による固定的役割分担」を見直し、男性も女性も意欲と能力によって夢や希望を叶えられる男女共同参画社会の実現を目指しましょう。(市民活動推進課)

